

# りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修 2024

～さまざまな方向から探る、公共ホールの現在と未来～

1. 対象 大学生、公共ホール・劇場職員で業務経験がおおむね5年未満の方
2. 開催期日 2024年8月14日(水) 12:30～8月17日(土) 18:00
3. 開催場所 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館
4. 参加費用 大学生：研修参加費 無料  
社会人：研修参加費 10,000円  
※参加費以外の経費(交通費・宿泊費・食費等)は個人負担です。
5. 定員 8人程度
6. 募集期間 2024年5月1日(水)～7月14日(日)  
※ただし、定員に達した段階で締め切ります。
7. 申込方法 以下のGoogleフォームかメールでお申し込みください。



りゅーとぴあ音楽アーツ・マネジメント研修  
参加申込み QR コード

メール申込みの場合は、次の事項を送信してください。

(メール送信先：新潟市民芸術文化会館事業企画部田村 a-tamura@ryutopia.or.jp)

①氏名、②住所、③連絡先(電話、メールアドレス)、④年齢、⑤所属(学校名、学部、学科、学年あるいは会館名)、⑥自分以外の緊急連絡先、⑦この研修に参加しようと思った理由、この研修で何を学びたいか

※申し込まれた方には、10日以内に詳細カリキュラムをメールで送信します。

万一、届かない場合は恐れ入りますが下記メール・アドレスにご一報ください。

## 8. カリキュラム内容

- (1) 公共ホールの歴史とりゅーとぴあ/公共ホールの歴史と社会的役割の変化をたどり、特長あるりゅーとぴあの施設・運営についてありのままお話しします。
- (2) アウトリーチあれこれ/りゅーとぴあが行っている小学校訪問プログラム、夏休み親子向けオーケストラ公演を、実際に体験します。
- (3) 公共ホール、現場の声 / 一口に公共ホールと言っても、その実務は多岐にわたります。それぞれのサービスの現場を担っている人の、生の声をどうぞ。
- (4) 多彩なゲスト/専属オルガニストや東京交響楽団の方など、多彩なゲストが登場します。いろんな立場、角度からのお話をどうぞ。
- (5) 新しい時代のPR/時代が変わる中で、単なる「商品セールス」ではないPRについて考えましょう。

## 9. 問い合わせ先

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館事業企画部 田村

[a-tamura@ryutopia.or.jp](mailto:a-tamura@ryutopia.or.jp)

電話：025-224-5614 FAX：025-224-5626

〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内)

ここが特徴！ りゅーとびあ音楽アーツ・マネジメント研修

① 3つの専門ホール（コンサートホール・劇場・能楽堂）の集合体である、りゅーとびあ。我が国の公共ホールの歴史をたどっていくと、これが一つの回答であることがわかります。また、りゅーとびあの現在の運営からは、施設面だけでなくソフト面においてもさまざまな工夫が発見できます（もちろんたくさん課題も）。それをリアルに正直にお話します。



② 小学校訪問を重ねる地域の音楽家、りゅーとびあを本拠地に活動する専属オルガン奏者、提携するプロ・オーケストラ…りゅーとびあが関わる様々な音楽家の演奏やお話を聞くと、地域の公共ホールと音楽家の理想的な付き合い方、ほどよい『距離感』が見えてきます。



③ 時代が大きく変わっていく中で、最適なPR手法も変わっています。注意してよく見ると、お客様の「チケットを買う」という行動の前に、その行動を生み出す大切な前提条件があることがわかってきます。キーワードは「共感」。今、りゅーとびあで行なわれている実践も踏まえて、【共感を得るために何ができるか】を考えてみましょう。

昨年の参加者の声

音楽アーツ・マネジメント研修の4日間は、最後まで乗り切れるかという申し込む前の不安が嘘のように、あっという間に終わってしまいました。  
りゅーとびあで行われていることを中心に、日本の最先端の公共ホールでの取り組みを知ることができたのはもちろん、将来、教育の面から音楽の普及に関わりたいと考える身としても、その魅力の伝え方など、役立つ手段や考えを得ることができました。  
その道を極めているりゅーとびあの職員さんと、さまざまな所から集まった研修生と学ぶことは、必ず自身の成長につながるはずです！（大学生）

この研修では本当に多くを学ぶことができます。ただ知識を増やすというだけではなく、実際に体験をしてみたり意見を交わしあったり、すべての時間が成長につながります。

さらに、この研修では公共ホール事業の綺麗な面だけを教えるのではなく、課題点などの現状なども教えていただけます。ここまで赤裸々にお話を聞ける機会は他にはなかなかないのではないのでしょうか。どんな職種を希望している方にも学びになる点が多いと思います。

似たようなものに興味関心を抱いた人たちと本気で学び合う時間は一生の宝物になります。ぜひ多くの人にこのとても濃い四日間を体験してほしいと感じました。（大学生）